

平成 18 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 太陽誘電株式会社
コード番号 6976
問 合 せ 先 経営本部 広報部
大嶋 一幸
TEL (03)3832-0101

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 10 日に公表した平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結 中間業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	104,000	6,500	6,000	2,800
今回修正予想 (B)	108,500	8,500	8,500	4,200
増 減 額 (B - A)	4,500	2,000	2,500	1,400
増 減 率	4.3%	30.8%	41.7%	50.0%
前中間期実績 (平成 18 年 3 月期)	88,169	897	1,199	212

2. 平成 19 年 3 月期 個別 中間業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	84,000	-	4,000	2,000
今回修正予想 (B)	87,500	-	5,500	3,000
増 減 額 (B - A)	3,500	-	1,500	1,000
増 減 率	4.2%	-	37.5%	50.0%
前中間期実績 (平成 18 年 3 月期)	71,544	4,140	1,315	843

3. 平成 19 年 3 月期 連結 通期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	210,000	12,000	11,000	5,000
今回修正予想 (B)	213,000	16,000	15,500	8,500
増 減 額 (B - A)	3,000	4,000	4,500	3,500
増 減 率	1.4%	33.3%	40.9%	70.0%
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	186,539	6,691	6,997	3,155

4. 平成 19 年 3 月期 個別 通期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	168,000	-	7,000	3,500
今回修正予想 (B)	176,000	-	11,000	6,000
増 減 額 (B - A)	8,000	-	4,000	2,500
増 減 率	4.8%	-	57.1%	71.4%
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	150,324	2,409	1,265	526

5. 修正の理由

当中間期における電子部品の連結受注は、パソコンをはじめとする情報機器、携帯電話を主体とする通信機器、さらにはデジタルスチルカメラや薄型テレビに代表される民生機器など、主要電子機器全般の堅調さに支えられ、第2四半期後半から季節性による増加が見られるなど好調に推移しました。そのような市場環境を踏まえ、当社は主力製品である積層セラミックコンデンサの生産能力拡大に注力してきました。その結果、とくに第2四半期において期初想定以上にコンデンサの売上高を伸ばすことができました。また、需給のタイト感が続いたコンデンサやインダクタにおいて、市場価格下落が想定よりも軽微であったこと、さらには、当中間期の対米ドル平均為替レートが期初想定 of 110 円 / 米ドルに対して、115.43 円 / 米ドルと 5.43 円の円安となったことも、利益増加要因となりました。これらの結果、当連結中間業績は期初予想を上回る見通しとなったことから、今回、中間業績予想を修正いたしました。

下期については、液晶テレビ向けバックライト用インバータモジュールを主体とするモジュールの売上減少や、フェライト及び応用製品の季節性による売上減少は見込まれるものの、コンデンサの第3四半期は比較的好調な需要が継続するものと予想しています。また、期初に 110 円 / 米ドルと想定していた為替レートも円安で推移すると見込まれることから、下期の想定為替レートを 115 円 / 米ドルへと変更いたしました。

その結果、通期の連結業績についても期初予想を上回る見通しであることから、連結通期業績予想を修正いたしました。

当中間期、および通期の個別業績予想についても、連結業績の好調さに連動して期初予想を上回る見通しであるため、個別中間業績予想ならびに個別通期業績予想についても修正いたしました。

< 業績予想に関する注意事項 >

この資料に記載されている業績予想数値については、現時点で得られた情報に基づいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要因の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上